



ボーイスカウト西湘地区
総務広報委員会
第 6 号
2020年10月発行

スカウティング西湘

2020 上半期

新型コロナ禍でのスカウティング・活動

今期夏の活動におけるキーワードは『竹』でした

大井第1団

秦野市・小田原市・南足柄市に囲まれた“足柄上郡”の中で、数少ないボーイスカウトがある町、大井町。大井第1団は、ほどよい自然に恵まれた環境の中、楽しくマイペースにスカウト活動をしています。R2年現在、BVS2名、CS7名、BS1名、VS2名。大所帯とは言えませんが個性豊かでエネルギッシュなスカウト達が揃っています。

今期夏の活動におけるキーワードは『竹』でした。7月19日、町を通るJR御殿場線を一駅分歩き、たどり着いた団関係者所有の竹林で青竹を切り出し、恐る恐るノギリで切り揃える。8月2日、ロープ練習の傍らで、余った竹の残材で水鉄砲を作成。8月23日、南足柄第1団と合同で山北町の丹沢湖奥でデイキャンプ。竹の水鉄砲を持参した川遊びで、なぜか巨大なカエルを捕まえ大はしゃぎするビーバーとカブ。ボーイは黙々と竹材で立ち竈の製作にトライ。感染症の不安をよそに元気に活動を続けています。





半年ぶりの活動で12名上進

秦野第1団

我々秦野第1団では、8月29日(土)に白笹稲荷神社に於いて、「上進式・納涼祭」を開催致しました。例年4月第1(日)曜日午前中に開催される上進式は、2月21日に発令された「新型コロナウイルス感染の対応」により、我が団に於いては7月31日までの5ヶ月間すべての活動を中止又は延期とし、この日は6ヶ月ぶりの団活動の再開となりました。「新型コロナウイルス感染拡大予防」と「熱中症対策」により、午後5時から始まった「上進式」では、ビーバー隊より1名、カブ隊より3名、ボーイ隊より7名、ベンチャー隊より1名の計12名のスカウトが上進致しました。

我が団では2年に1度「団キャンプ」を開催しておりますが、団キャンプの無い年の8月の終わりに「団納涼祭」を開催しております。午後6時、納涼祭が始まりました。団委員により用意された夕食のピザ・フランクフルト・ポップコーン・チューペット・ジュースでスカウトらはお腹を膨らませると、休憩する間もなく、オモチャ金魚すくい・ヨーヨー釣り・空気鉄砲射的で盛り上がりました。最後には、「白笹の森」の夕闇の中、スカウトらが工作した「紙コップ灯籠」を囲い、例年には無い幻想的な雰囲気の中、ゲーム・夜話で8月最後のひと時を楽しみました。





タウンニュースにも掲載されました

秦野第1団

半年ぶり活動で12人上進

ボーイスカウト秦野第1団

教育

掲載号：2020年9月11日号

ボーイスカウト秦野第1団
(佐野友保委員長・77人)が
8月29日、白笹稻荷神社で上
進式を行った。今年度はビー
バー隊(小1～2)、カブ隊
(小3～5)、ボーイ隊(小
6～中3)、ベンチャー隊



距離を保ち行われた上進式

(高1～3)の各隊から12人が上の隊へ進んだ。また、ボーイ隊から川口樹
さん(23)が副長として指導者に任命された。

上進式は毎年4月に行われているが、新型コロナウイルス感染予防のため活動を中
止・延期に。この日は6カ月ぶりの仲間との再会とあって、スカウトらは式
後に行われた納涼祭と共に活動を楽しんだ。

納涼祭ではピザやフランクフルトなどでお腹を膨らませ、ヨーヨー釣りや
空気銃砲射的で盛り上がった。最後には、スカウトらが自作した紙コップの
灯ろうを囲い、幻想的な雰囲気の中、ゲームや夜話で8月最後のひと時を
過ごしていた。

ボーイスカウト日本連盟では文科省の委託を受け、今後「ボーイスカウト
とあそぼう！ワクワク自然体験あそび」の実施も予定している。同団は
「近々詳細を案内予定です。小中学生の皆さん、一緒にハイキングにいきま
しょう」と呼び掛けている。(問)副団委員長・相原さん【携帯電話】





コロナ過でのおうちスカウティング

秦野第2団

■ビーバー隊



7月4日に七夕飾りを作りました。

■カブ隊



ディキャンプでハンバーガーを作りました。

■ボーイ隊



ブルーシートでテント作りました。

■カブ隊 おうちスカウティング



原田スカウト 志賀スカウト
金目をさばき たこ焼きに挑戦
炊き込みご飯作り しました。



酒井スカウト、富士章挑戦
一人旅！



9月6日に上進式を行いました。





ボーイスカウト西湘地区
総務広報委員会
第 6 号
2020年10月発行

ビーバー隊オリジナルTシャツ作成

伊勢原第1団

上進のタイミングが自粛期間となってしまったため、上進記念の伊勢原第1団BVS隊オリジナルTシャツを暗号とともに送付し、見事に暗号が解け、回答のはがきが送られてきました。

暗号の回答は「コノTシャツヲキタシャシンヲタイチョウニオクレ」でした。



メッセージを添えて送られてきた写真はこちらです。

Tシャツのお礼と暗号が解けた事、自粛期間中は部屋に飾ってくれていたメッセージが添えられていました。

お礼の手紙を出すということを学んでくれたものと思っています。

Tシャツの絵柄はこちらです。

広報誌SCOUTINGを真似て作りました。

うれしいことに毎回活動に着てくれています。

引き続き感染防止を徹底しながら活動を続けていきたいと思ひます。

ビーバー隊 隊長 二見 平





おうちスカウティング他

小田原第2団

😊 おうちスカウティング ～ 団委員長の閑時作業

団キャンプ場の柵と看板を作成。次にBVS～VSの木の人形とりす・うさぎ・しか・くまの木の動物を作成。最後に隊員募集の看板を作成しました。新型コロナの影響で、前の道を通る子供連れが増えており、立ち止まって見てくれています。スカウト獲得に繋がればと考えています。



😊 任命式・上進式・団総会 ～ 6月14日(日)団キャンプ場・集会場

新型コロナでの活動休止からいよいよ再開に踏み切りました。コロナ対策としてマスク着用、消毒、検温を実施し、任命式と上進式は屋外で密を避けて行い、総会は集会場で換気しながら行いました。あいにくの雨でシートの下での式となりました。





😊 サマーナイトフェスティバル ～ 7月25日(土)団キャンプ場

今年は新型コロナの影響により様々な活動が例年通りにいかない中で、今までとは違う様式でスカウトに楽しい経験が出来ないかとCS隊とBVS隊の指導者の思いを形にしてみました。今年は各地域のお祭りや花火大会なども中止になっている中でボーイスカウト的夏祭りを開催しました。



😊 団ファミリーデー ～ 8月9日(日)船原キャンプ場

予定していた団のサマーキャンプが実施できなかったため、ファミリーデーを実施しました。感染防止に留意しながら、森と川のフィールドを生かした保護者も含めた縦割りのグループを編成してラリーを実施。BS隊は前日からリンツで1泊キャンプを実施しました。参加者たちは自然の中で日常を忘れて楽しみました。





『ひら4 サマープログラム』

平塚第4団

平塚第4団では、毎年恒例の夏の野舎営を残念ながら行うことができませんでした。コロナ禍でも、どのような活動ならば可能なのか、どのような備えをすればスカウト・保護者に安心して活動に参加してもらえるのか7月の活動再開にあたり、手探りの取り組みが続いてきました。

こうした中で、スカウトたちが楽しみにしている夏休み期間が2週間に短縮されたこと、平塚名物の七夕祭りや花火大会、地域のお祭りも中止となってしまったことを受け、少しでもスカウトたちの思い出となる集会を開催しようと、それぞれの隊が夏の集会「ひら4 サマープログラム」を企画・計画しました。

『風船はりこでランタンファイヤー』

ビーバー隊 齋藤万里子

コロナウイルスにより、活動自粛をされていた中で、ビーバー隊は「おうちスカウティング」の取り組みで、『風船はりこランタン作り』を行いました。膨らませた風船に、半紙を糊で貼り、模様を貼り付けました。半紙が濁き、風船の弾力性がなくなってきたら、風船の空気を抜き出来上がります。



8月最後の日曜日、夕方から隊集会を開きました。この日の活動は、ランタンツリーの共同制作とランタンツリーを囲んでのランタンファイヤーです。

はじめに、ランタンを置く枝を段ボールと折り紙を使い、各自で制作しました。スカウト各自の枝を、段ボールで作成した幹に差しました。その後、折り紙で、セミやクワガタを折り、貼り付け、ツリーの完成です。各自の「風船ランタン」にライトを灯し、ランタンファイヤーの始まりです。いつものキャンプファイヤーのようにはいきませんが、限られた条件の中で楽しめるゲームを楽しみ、短い夏休みの思い出作りになったことと思います。ランタンファイヤーには保護者の方々にもご参加いただきました。この『風船はりこランタンツリー』は、翌週スカウト会館に運び、「青少年少年少女作品展」に共同制作として出品しました。「おうちスカウティング」の取り組みと実際に共同で活動する隊集会のよさを合わせたプログラムとなったと思います。

『夏祭り』

カブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊 齋藤 歩

「いつもお世話になっています。子供達、帰りの車、家でもすごく楽しかった(^-^)美味しかった(^-^)と喜んでおりました。カブ隊の三男はイルカのフィギュアをたくさん並べて喜んでいました。二男もビーフシチューが余程美味しかったみたいで、また食べたいと言っていました。皆さまありがとうございました。」





8月末のカブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊の夏の合同集会を終えた後、保護者から届いたメッセージです。この日のために準備してきた指導者一同、疲れも吹き飛びました。

密を避けられる屋外、かつ熱中症対策も考慮した夕方から夜間時間帯を条件に、会場は「平塚市びわ青少年の家」としました。当日は、ベンチャー隊・ボーイ隊は野外炊事訓練、カブ隊は会場周辺のワイドゲームをしながら、久しぶりの屋外での活動を楽しみました。



ボーイ隊・カブ隊は7月に入隊・上進式をして活動再開したものの、班・組として屋外で仲間と一緒に体を思いきり動かすのは今年度初めて。多少ざ

こちないかなと、指導者が思っていたのははじめだけ、次第に班・組でのチームワークを発揮し始めるスカウトたち。ボーイ隊・ベンチャー隊は事前に準備してきた献立を手際よく作っていきました。火の扱いや効率の良い調理については、まだまだ訓練が必要なようですが、新グリーンバースカウトを中心に、新入スカウトも物怖じせずに取り組んでいたようで、指導者は一安心でした。炎天下のもとでしたが、カブ隊は新しい仲間と一緒にコマ地図をもとにして、元気よく会場周辺を駆け回っていました。

ベンチャー隊はミートケーキ、ボーイ隊はチーズインハンバーグとビーフシチューをそれぞれ班ごとに味わい、カブ隊は指導者が汗いっぱいになって焼き上げた焼きそばとフランクフルトの「ザ・縁日メニュー」を満喫していました。

食後は3隊合同の「夏祭り」。この日のために平塚市内各所から資材・材料をかき集めてきました。内容も「夏祭り」らしく、冷やしパインアップル・かき氷・スーパーボールすくい・くじ引き・輪投げと盛りだくさんでした。指導者たちが集めてきた「プロ仕様」のグッズは、いずれも大人気。大盛況の中、お開きとなりました。



集合時は明るかったのに、解散時にはもう闇に包まれていました。解散のセレモニーの最中には、夏の終わりを告げるような涼しい風も吹いてきました。まだまだ解散するのを名残惜しむように、お迎えの保護者が来てもなかなか帰れないスカウトたち。スカウトはもちろん、指導者も久しぶりのスカウト活動にあたり、準備から実施・片付けまで忙しい中にも楽しむことができました。これからもコロナとともに新しいスカウティングの在り方を考え、実行していこうと思います。

地区・県のスカウト、指導者の皆さんと一緒に活動できることを待ちわびています。コロナ禍でもできる、スカウトたちが楽しめるスカウト活動を是非交流していきたいと願っています。





カブ隊合同秋季舎営

平塚第5団・第6団



9月下旬、うだるような暑さが去り、朝晩に涼風が吹き始め、秋の訪れを感じさせます。

秋といえば「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」と色々な顔を持っていますが、今年の平塚第5団・6団は、静岡の清流のほとりで「キャンプの秋」を過ごしました。

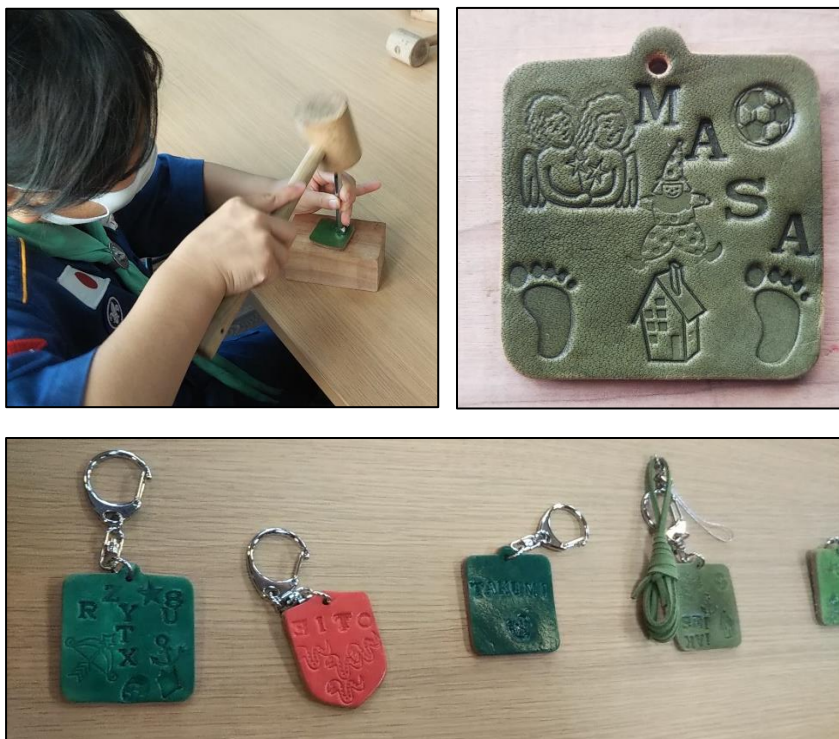
キャンプ地は、桃沢野外活動センター。川と森に囲まれており、ボーイスカウトの本分である野外活動には打ってつけのフィールドです。



1日目は、ハイキング・水遊び・営火と、野外活動を存分に楽しみました。

ハイキングは、桃沢の自然に触れながら、スカウトスキルのおさらいや観察力・チームワークを養う訓練を行いました。水遊びでは、リーダーが用意した石と同じ重さの石を見つける「お宝さがし」を行いました。キャンプファイヤーでは、スタンツやソングで盛り上がりとともに、1日目で見学したことを静かに振り返りました。





2日目は工作プログラム。キャンプの記念品として、革のキーホルダーを作りました。金属製のスタンプと木槌を使って、革に文字やマークを打ち込んでいく本格的なもので、こうした工作は今回が初めてでしたが、みんな怪我なく作り上げました。



最後に、お世話になったキャンプ場に感謝を込めて、弥栄

本年度は、コロナウイルス感染防止の観点から、例年通りのプログラム展開が難しくなり、秋季舎営においても、社会的距離を意識したり、手指・共用品の消毒を徹底したりと、9/21～22のわずか1泊2日とはいえ大変気をつかうことになりましたが、スカウト・リーダー共に、楽しい2日間を過ごすことができました。

特にCS隊のうさぎスカウトにとっては、初めてのキャンプとなりました。この舎営での楽しさが、後の活動での楽しさに繋がってくれることを、切に願います。

平塚第5団カブ隊副長 内山 賀皓





スカウトの日 活動報告

秦野第1団

1、テーマ:地域大好き!! Love the Earth

スカウト一人ひとりが、今の地球上に起こっている問題について考えながら、地球環境の未来に向けて、できることから行動を始めよう!

2、目的:奉仕活動として、さまざまな社会貢献活動を全国一斉に展開し、地域社会に貢献する。スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを、広く社会にアピールする機会とする。

3、実施概要:環境保全・環境美化の活動(ゴミ拾い)

4、実施日時:令和2年9月21日(月)午前9時~12時

5、実施場所:常磐橋より上流へ水無川兩岸の緑地と県道

6、参加人員:BVS隊8名、CS隊13名、BS隊7名、VS隊3名、団委員7名 合計38名。

7、プログラム:9時集合・セレモニー、9時30分班分け `カブ隊を中心に2班編成。

[指示書1]配布、先導リーダーと班名を決める。

赤組、はだの1団班、リーダーはボーイ隊川口次長。

白組、ねこ班、リーダーはベンチャー隊金枝スカウト。

10時出発、10時30分[指示書2]配布。道路に上がって折り返し、鬼子母神広場へ。

11時到着、計量・休憩。11時15分[班対抗かんきょうマーク集め発表]

11時45分セレモニー 表彰

はだの1団班:可燃ゴミ 1.8kg・不燃ゴミ 1.2kg・空き缶 67 個・ペットボトル 18 本

かんきょうマーク 230 点 合計 345 点

ねこ班:可燃ゴミ 1.1kg・不燃ゴミ 8.2kg・空き缶 17 個・ペットボトル 7 本

かんきょうマーク 240 点 合計 357 点

最優秀班:ねこ班、優秀班:はだの1団班。

参加賞:「SDGs発見ノート」ワークブック・シール・記念バッジ。12時各隊解散。





8、講評:今年度は、日本連盟より提供された「かんきょうマークを集めよう」プログラムキットを活用し、事前に各隊に配布を行い、スカウト各自がそれぞれの家庭で「かんきょうマーク」を探し、「スカウトの日」に集めて来た「かんきょうマーク」を班対応で発表致しました。見つかりにくいレアなマークも多い中24種類すべて集まり、配点に差が付かず苦勞致しましたが、日本連盟のプログラムの企画には感謝致します。





進歩委員会

●隼スカウト章進級おめでとう!!

秦野2団 酒井 康佑 スカウト

今回の進級で一番感じたのは「周囲の人々への感謝」です。
多くの課題に挑戦するのにリーダーや両親、隊の仲間の協力は必要不可欠でした。
これからは富士への挑戦に加えて「感謝」について考えていきたいと思います。



酒井スカウトは菊スカウトに進級してから、ボーイ隊活動への奉仕や地域への支援活動などに積極的参加し、技能章修得も努力してきました。

昨年開催された24回世界ジャンボリーに参加し、多くの国のスカウトとの交流を通してスカウト活動の素晴らしさを体験し刺激を受けて隼スカウト章挑戦の活動を頑張ってきました。

弟や妹もスカウト活動をしており面倒見の良いお兄さんスカウトでもあります。
これからのスカウト活動で研鑽を積み、富士スカウト目指して行きたいと新たな目標を見据えて活動に励んでいます。

秦野第2団 増水 淳 VS 隊長より





ボーイスカウト西湘地区
総務広報委員会
第 6 号
2020年10月発行

2020 下半期の主な行事

●ジャンボリー・オン・ジ・インターネット 2020(JOTI2020) 国際委員会

西湘地区では例年、会場を設けて実施しておりましたが、新しい生活様式に倣い、本年度は各団にて実施をご検討願います。

10/16 ~ 10/18 任意の場所

●ボーイスカウト講習会 指導者養成委員会

11/15 (後日連絡) 小田原市川東タウンセンター マロニエ

●ボーイスカウト野外活動講習会 指導者養成委員会

11/29 (後日連絡)

●ソング・ゲーム研究会 指導者養成委員会

1/31 (後日連絡)

●デンリーダー勉強会 指導者養成委員会

3/07 (後日連絡)

●ワクワク自然体験遊び

12/06 茅ヶ崎市中央公園 ~ 3月までの間 西湘地区内で開催(後日連絡)





ボーイスカウト西湘地区
 総務広報委員会
 第 6 号
 2020年10月発行



- ・打ち上げ予定日時 2020年11月(中旬)
- ・搭乗機 スペースX社 クルードラゴン宇宙船 運用初号機
- ・滞在期間 約半年間を予定
- ・打ち上げ場所 米国フロリダ州ケネディ宇宙センター39A射点



- ・クルーメンバー
- Shannon Walker Second spaceflight
- Victor Glover First spaceflight
- Michael Hopkins Second spaceflight
- Soichi Noguchi Third spaceflight (茅ヶ崎第2団 BVS 隊副長)



野口聡一 宇宙飛行士

幼い頃からの夢であった宇宙飛行士になって24年となり、その間に2度の宇宙飛行を行い11月には、3度目の宇宙飛行に出発する野口聡一宇宙飛行士は、皆さんと同じスカウトです。

日本連盟のアンバサダーとなって日本スカウトジャンボリーに毎回参加し、スカウトたちに心温まるメッセージを贈ってくれています。





ボーイスカウト西湘地区
総務広報委員会
第 6 号
2020年10月発行

1度目の宇宙飛行はスペースシャトルコロンビア号の爆発事故後のシャトル運用再開第1号で宇宙へ飛び立ち、世界中から注目集めての搭乗でした。

2度目は、ロシアの宇宙船ソユーズに搭乗して6ヶ月に及ぶ宇宙での長期滞在を行って無事帰還しました。

3回目は、米国がスペースシャトルの運用を止めて9年目となり、国際宇宙ステーションへ宇宙飛行士の輸送運用再開第1号機に搭乗し、また、世界中から注目を集める飛行となります。

野口聡一宇宙飛行士は、宇宙飛行の過酷な訓練を「そなえよつねに」の精神で乗り越えているそうです。打ち上げが成功し半年後に無事地球に帰還することをお祈りください。

脇本保則 西湘地区委員長(茅ヶ崎第2団 団委員長)

野口宇宙飛行士安全祈禱

寒川神社にて



頑張れ！ 野口宇宙飛行士

平塚第3団・第4団・第5団・第6団 スカウト一同



湘南海岸をきれいにする会 平塚海岸清掃会場にて(ボーイスカウト平塚市連絡協議会)





編集後記

ご多忙の中各団から原稿や写真をご提供いただきありがとうございました。

新型コロナのために、本年3月に発行予定であった本号が延期され、隼スカウトになった秦野2団の酒井スカウトの報告が遅れてしまい申し訳ございませんでした。

感染がおさまらず、計画していた行事ができずに、各団ご苦勞されているところですが、日本連盟、神奈川県連盟、そして西湘地区のガイドラインに沿って、感染防止対策を十分におこなってやっと活動ができるようになってきました。

各団が素晴らしい活動をスカウトに提供できるように、地区の各委員会も頑張っていますので、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

11月上旬に茅ヶ崎2団の指導者で宇宙飛行士の野口聡一さんが、宇宙船クルードラゴンに搭乗して、米国フロリダ州ケネディ宇宙センターから出発します。

皆さんで応援しましょう。

西湘地区のホームページとFacebookもご覧ください。

ホームページ URL : <http://seisyobs.s72.coreserver.jp/>

Facebook URL : <https://www.facebook.com/groups/1660764967266902/>

スカウティング西湘 発行No第6号 発行月:2020年10月

発行者:ボーイスカウト西湘地区委員長 脇本保則

編集担当:総務広報委員会

前島正彰 畑 正幸 小川弘子 石田英樹 小野寺 均(HP)

